

田中晶子 ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ：中川賢一

2014年
6月7日(土)



14:30 開場 15:00 開演

五反田文化センター
音楽ホール

東急目黒線『不動前』駅より徒歩7分

チケット:

4,000円
(全席指定席)

ブラームス:

ヴァイオリンソナタ 第1番ト長調『雨の歌』

ブラームス:

F.A.E. ソナタ 第3楽章 スケルツォ

ヴェルディ/デュピン:

歌劇『椿姫』による変奏曲

クライスラー:

中国の太鼓

サラサーテ:

ツイゴイネルワイゼン 他

田中 晶子 (ヴァイオリン)

ロンドンのクイーン・エリザベス・ホールでのデビュー以来、これまでに30ヶ国以上でソリストとしての活動を続けている。リサイタルの他、室内楽はエレーヌ・グリモー、ヴァディム・レーピン、パスカル・ロジェなど共演、協奏曲はドイツ放送響、ハンブルグ響、ヘルシンキフィル、フィンランド放送響、ポーランド放送響、バイエルン放送室内管、シュツットガルト室内管共演。バイエルン放送局などのラジオ出演とレコーディングも数多く、ヨーロッパ各地の音楽祭からの招待も多い。日本では日本フィルハーモニー響の定期でデビュー後、札幌響、大阪響、日本センチュリー響、広島響などに客演し、指揮者はユッカ=ペッカ・サラステ、セルジュ・コミッション、ゲルハルト・ボッセ、アンドレアス・ヴァイサー、グジェゴシュ・ノヴァック、パスカル・ロジェ、ラドスラフ・シュルツ、高関健、沼尻竜典、飯森範親、堤俊作などと共演。大阪府高槻市に生まれて4歳から才能教育でヴァイオリンを始めて相愛学音楽教室で学ぶ。第37回全日本学生音楽中学校の部・大阪大会優勝。桐朋女子高等学校音楽科に入学して3年生の時、第56回日本音楽コンクール第3位。その後、桐朋学園大学ディプロマコースへ進む。ギルドホール音楽院の奨学生としてロンドンに留学、フランス・ヴィシー国際コンクール優勝。第6回シベリウス国際ヴァイオリン・コンクールで日本人としてはじめての入賞(1位なしの3位)、第1回ハノーヴァー国際ヴァイオリン・コンクール入賞。ドイツのマンハイム音楽大学、アムステルダムで研鑽を積む。第11回ヴィエニアフスキ国際ヴァイオリン・コンクール第3位(1位なし)と併せてポロネーズ賞とシマノフスキー賞受賞。第47回ミュンヘン国際音楽コンクール・デュオ部門第3位(ピアノ:エフゲニー・シナイスキー) ヴィルフリート・ヒラーが田中のために作曲した『死はひとりの美しい乙女』を初演のほか、2012年9月にはバチカン市国でローマ法王の前でヴィルフリート・ヒラー作曲のアウグスティヌスのソロパートを御前演奏。近年は2013年6月に紀尾井ホールと京都バロックザールでリサイタルを開催し、東京公演にはゲスト出演のマキシム・ヴェンゲーロフとデュオで共演して大きな話題となる。今春の帰国時には本リサイタルの他、ヴェンゲーロフのオファーによって5月27日に大阪フェスティバルホールでヴェンゲーロフとポーランド室内管弦楽団と共演し、5月29日に横浜みなとみらいホールでのヴェンゲーロフ関係のコンサートにも出演。又、6月は日本センチュリー交響楽団とのチャイコフスキーのコンチェルト共演が予定されている。曾我部千恵子、辰巳明子、イブラー・ニーマン、ワンダ・ウィルコミルスカ、ヘルマン・クレバースの各氏に師事。本年より桐朋学園大学音楽部の講師。使用楽器はテストレー(Carlo Giuseppe Testore) 1708年 Milan。

2014年3月現在

中川 賢一 (ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同時に指揮も学ぶ。卒業後、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科最高課程、特別課程を首席修了。在学中にフォルテピアノ、チェンバロも習得。1997年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。ヨーロッパ国内外の様々な音楽祭に出演。1998年帰国後は、ソロ、室内楽、指揮などで幅広く活動。NHK-FMなどに度々出演、新作初演多数。夏木マリの「印象派」シリーズ連続出演や、故・頼近美津子、伊藤ひろ子、平野文等との朗読と音楽など、他分野とのコラボレーションも活発。「Just Composed in Yokohama」、「超難解音楽祭」(仙台)音楽監督・プロデュースなども行う。サントリーサマーフェスティバル、東京の夏音楽祭、武生国際音楽祭に数多く出演。指揮では、東京室内歌劇場、広響、他と共演。2010年タップダンサーの熊谷和徳との共演で東京フィルを指揮し各方面から好評を博す。NHKテレビ「名曲探偵アマデウス」、東京フィル、札幌響、水戸室内管等でピアノ演奏とトークを交えたアナリーゼ等を展開。現代音楽アンサンブル「アンサンブル・ノマド」のピアニスト、指揮者。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。2001年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。 <http://www.nakagawakenichi.jp>

リサイタルに寄せて

私が初めて田中晶子さんの演奏を聴いたのは、まだ幼い姿のコンクール入賞直後のリサイタルで、既に技術だけでなく音楽に芯のある自分に自信を持った音楽家だと感じたことを覚えています。そして2012年4月、久しぶりに京都で帰国リサイタルがあることを知り伺いました。そこで驚いたのは「私はベートーヴェンをこう弾きます」と言わんばかりに観客を引き付ける演奏でした。さすがにヨーロッパでソロと室内楽だけの活動を続けているだけあって、本場で頑張っている演奏家は違うなと思いました。これは経歴にある一流演奏家との室内楽活動も起因しているのだと思います。弊社はアーティストマネジメントは行っていないが、田中さんの日本での活動再開を陰ながら応援したいと思います。昨年は紀尾井ホールでのリサイタルにマキシム・ヴェンゲーロフがゲスト出演して下さいましたが、今年はヴェンゲーロフからポーランド室内管弦楽団とのワールドツアーに田中さんのゲスト出演のオファーがありました。(5月27日・フェスティバルホール)若いソリスト達が活動の場がなくなってオーケストラに入団したり、指導中心の生活に入っていく厳しい現実の音楽の世界ですが、田中さんには今後も長くソリストとしての活動を続けていただくことを期待します。

Flagship Japan 辻孝文

チケット
発売日 **3月30日(日) 一般発売**

お問合せ

■ マッジョラータ mail:maggiolata5@gmail.com
TEL:080-4331-9925

チケット取り扱い

- e+ (イープラス)
- マッジョラータ

<http://eplus.jp> 田中晶子 
<http://maggiolata.shop-pro.jp/>
maggiolata5@gmail.com
080-4331-9925

※都合により、プログラムが変更となる可能性があります。予めご了承ください。※未就学児童の入場はご遠慮ください。

主催: Maggiolata (マッジョラータ)